



平成23年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年3月11日

上場取引所 大

上場会社名 神島化学工業株式会社
コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 小田島 晴夫

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 平成23年3月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第3四半期の連結業績(平成22年5月1日～平成23年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第3四半期	12,289	4.8	757	△10.6	605	△4.1	248	32.2
22年4月期第3四半期	11,732	△11.5	847	203.9	631	—	188	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第3四半期	27.10	—
22年4月期第3四半期	20.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第3四半期	15,707	4,067	25.9	443.63
22年4月期	16,174	3,774	23.3	411.60

(参考) 自己資本 23年4月期第3四半期 4,067百万円 22年4月期 3,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年4月期	—	0.00	—	—	—
23年4月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年4月期の連結業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,600	0.1	880	△2.8	600	△5.3	250	27.2	27.05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 （詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年4月期3Q	9,240,000株	22年4月期	9,240,000株
② 期末自己株式数	23年4月期3Q	71,980株	22年4月期	69,350株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年4月期3Q	9,169,390株	22年4月期3Q	9,173,588株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	11
(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)	11
(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)	13
【第3四半期累計期間】 (参考) (個別)	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年5月～平成23年1月）におけるわが国経済は、新興国の需要拡大や一部の個人消費に持ち直しが見られるなか、経済対策をはじめとする効果を背景に企業収益も改善に向かいつつあるものの、デフレの継続、急激な円高や株式市場の停滞等により、依然先行き不透明な状況が続きました。

住宅市場におきましては、住宅需要促進策の効果もあり徐々に持ち直しの動きが見られたものの、雇用・所得環境は依然として厳しく、新設住宅着工戸数も本格的な回復には至りませんでした。

このような経済、経営環境の中で、売上高は12,289百万円と、対前年同四半期比557百万円（4.8%）の増収となりました。

一方損益面では、世界的な資源価格の高騰による原材料費増加等により、売上総利益は3,460百万円と対前年同四半期比49百万円（1.4%）の減益となりました。また、販売費及び一般管理費が微増し、営業利益は757百万円と対前年同四半期比89百万円の減益、金融コスト削減により経常利益は605百万円と対前年同四半期比26百万円の減益となりました。

特別損失として、投資有価証券評価損96百万円、役員退職慰労金41百万円等を計上しております。

これらの結果、四半期純利益は248百万円と対前年同四半期比60百万円の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

建材事業におきましては、営業基盤の拡充、新規得意先営業の推進に全力を挙げて取り組み、売上高は8,839百万円、セグメント利益（営業利益）は437百万円となりました。

他方、工業薬品事業は自動車や家電製品の生産回復を受け、売上高は3,450百万円、セグメント利益（営業利益）は630百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、15,707百万円となり、前連結会計年度末（以下前年度）に比べ467百万円減少しました。

このうち、流動資産は8,687百万円と前年度に比べ559百万円減少しました。主な増減要因は、現金及び預金673百万円減少、受取手形及び売掛金446百万円増加、たな卸資産237百万円減少等によるものであります。

また、固定資産は7,019百万円と前年度に比べ92百万円増加しました。主な増減要因は、有形固定資産234百万円増加、投資有価証券74百万円減少等によるものであります。

負債につきましては、負債合計11,640百万円と前年度に比べ759百万円減少いたしました。主な増減要因は、有利子負債1,215百万円減少、仕入債務194百万円増加、未払金340百万円増加等によるものであります。

純資産は4,067百万円となり前年度に比べ292百万円増加いたしました。主な増減要因は、利益剰余金の増加220百万円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較し653百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には1,243百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は1,059百万円（対前年同四半期比702百万円減）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益461百万円、減価償却費699百万円、たな卸資産の減少額237百万円、仕入債務の増加額194百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加額446百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は466百万円（対前年同四半期比263百万円減）となりました。主な増減要因は、定期預金の純減額20百万円、投資有価証券の売却による収入52百万円、有形固定資産の取得による支出540百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における財務活動による資金の減少は1,247百万円（対前年同四半期比796百万円増）となりました。主な増減要因は、短期借入金の純減額110百万円、長期借入れによる収入900百万円、長期借入金の返済による支出2,008百万円、配当金の支払額27百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月期の連結業績予想につきましては、平成22年6月11日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後の動向により業績に影響を及ぼす場合には適切に開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③原価差額の配賦方法

予定価格を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に前連結会計年度末の配賦割合をもとに配賦しております。

④固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

⑤法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,243	1,917
受取手形及び売掛金	4,096	3,649
商品及び製品	1,919	2,283
仕掛品	539	472
原材料及び貯蔵品	581	522
繰延税金資産	256	332
その他	82	98
貸倒引当金	△32	△28
流動資産合計	8,687	9,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,291	2,027
機械装置及び運搬具（純額）	2,206	2,447
土地	1,253	1,253
建設仮勘定	242	38
その他（純額）	72	63
有形固定資産合計	6,066	5,831
無形固定資産	52	83
投資その他の資産		
投資有価証券	481	556
繰延税金資産	310	330
その他	182	200
貸倒引当金	△73	△73
投資その他の資産合計	901	1,012
固定資産合計	7,019	6,927
資産合計	15,707	16,174

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,423	2,228
短期借入金	1,890	2,000
1年内返済予定の長期借入金	2,109	2,218
未払金	629	288
未払費用	135	174
未払法人税等	106	54
賞与引当金	82	180
設備関係支払手形	65	47
その他	83	83
流動負債合計	7,526	7,275
固定負債		
長期借入金	3,322	4,322
退職給付引当金	724	664
役員退職慰労引当金	65	137
その他	2	—
固定負債合計	4,114	5,124
負債合計	11,640	12,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,078	1,078
利益剰余金	1,740	1,519
自己株式	△25	△24
株主資本合計	4,113	3,893
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△46	△118
評価・換算差額等合計	△46	△118
純資産合計	4,067	3,774
負債純資産合計	15,707	16,174

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)
売上高	11,732	12,289
売上原価	8,223	8,829
売上総利益	3,509	3,460
販売費及び一般管理費	2,662	2,702
営業利益	847	757
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	10
破損損害金	10	8
雑収入	16	8
営業外収益合計	35	28
営業外費用		
支払利息	193	148
雑支出	57	32
営業外費用合計	250	180
経常利益	631	605
特別利益		
受取保険金	—	4
投資有価証券売却益	—	1
有形固定資産売却益	47	—
特別利益合計	47	6
特別損失		
投資有価証券評価損	21	96
役員退職慰労金	—	41
固定資産除却損	1	12
事業構造改善費用	194	—
固定資産処分損	12	—
たな卸資産廃棄損	11	—
特別損失合計	241	150
税金等調整前四半期純利益	437	461
法人税、住民税及び事業税	12	118
法人税等調整額	237	94
法人税等合計	249	212
四半期純利益	188	248

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	437	461
減価償却費	796	699
減損損失	129	—
受取保険金	—	△4
固定資産除却損	35	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△43	59
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	37	△72
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1
有形固定資産売却損益 (△は益)	△47	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	21	96
受取利息及び受取配当金	△8	△11
支払利息	193	148
売上債権の増減額 (△は増加)	△489	△446
たな卸資産の増減額 (△は増加)	205	237
仕入債務の増減額 (△は減少)	745	194
その他	△36	△106
小計	1,990	1,269
利息及び配当金の受取額	8	11
利息の支払額	△220	△169
保険金の受取額	—	4
法人税等の支払額	△15	△56
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,762	1,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	20
定期預金の預入による支出	△100	—
投資有価証券の取得による支出	△29	—
投資有価証券の売却による収入	—	52
有形固定資産の取得による支出	△124	△540
有形固定資産の売却による収入	51	—
無形固定資産の取得による支出	△1	—
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203	△466
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	△110
長期借入れによる収入	—	900
長期借入金の返済による支出	△1,842	△2,008
配当金の支払額	—	△27
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,043	△1,247
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△484	△653
現金及び現金同等物の期首残高	2,443	1,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,958	1,243

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)

	建材事業 (百万円)	工業薬品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,650	3,027	53	11,732	—	11,732
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	154	154	(154)	—
計	8,650	3,027	208	11,887	(154)	11,732
営業利益又は営業損失(△)	668	525	△10	1,183	(336)	847

(注) 1 事業の区分は主として、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要製品・商品

(1) 建材事業……住宅・ビル用不燃内外装材

(2) 工業薬品事業……マグネシウム類薬品、カルシウム類薬品、セラミックス原料及び製品

(3) その他の事業……養殖魚、セメント等建築資材

3 「養殖事業」は、事業区分「その他の事業」に含めて記載しておりますが、前第3四半期連結累計期間においては、別記載しております。なお、平成21年12月末に、「養殖事業」は廃止いたしました。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)

在外支店及び在外連結子会社がないため、所在地別セグメント情報は作成しておりません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、住宅・ビル用不燃内外装材の製造販売を行う「建材事業」、マグネシウム類薬品、カルシウム類薬品、セラミックス原料及び製品の製造販売を行う「工業薬品事業」を報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建材事業	工業薬品 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,839	3,450	12,289	—	12,289	—	12,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	119	119	△119	—
計	8,839	3,450	12,289	119	12,409	△119	12,289
セグメント利益	437	630	1,068	4	1,072	△314	757

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セメント等建築資材の販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△314百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△314百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)

該当事項はありません。

4. （参考）四半期財務諸表（個別）

（注） この四半期財務諸表（個別）は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

（1）（参考）四半期貸借対照表（個別）

（単位：百万円）

	当第3四半期会計期間末 （平成23年1月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年4月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び現金	1,240	1,917
受取手形	1,348	1,106
売掛金	2,747	2,542
商品及び製品	1,919	2,283
仕掛品	539	472
原材料及び貯蔵品	581	522
前払費用	71	84
繰延税金資産	256	332
未収入金	8	13
その他	1	1
貸倒引当金	△ 32	△ 28
流動資産合計	8,683	9,248
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,223	1,956
構築物	67	70
機械及び装置	2,194	2,437
車輛運搬具	12	10
工具、器具及び備品	68	63
土地	1,253	1,253
リース資産	3	—
建設仮勘定	242	38
有形固定資産合計	6,066	5,831
無形固定資産		
ソフトウェア	49	79
電話加入権	3	3
無形固定資産合計	52	83
投資その他の資産		
投資有価証券	481	556
関係会社株式	0	0
出資金	1	1
関係会社長期貸付金	351	359
破産更正債権等	74	73
長期前払費用	49	60
繰延税金資産	310	330
その他	57	50
貸倒引当金	△ 420	△ 421
投資その他の資産合計	905	1,010
固定資産合計	7,024	6,925
資産合計	15,707	16,173

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,140	1,068
買掛金	1,283	1,161
短期借入金	1,890	2,000
1年内返済予定の長期借入金	2,109	2,218
リース債務	0	—
未払金	629	288
未払費用	135	174
未払法人税等	106	54
前受金	12	1
預り金	59	52
賞与引当金	82	180
設備関係支払手形	65	47
その他	11	27
流動負債合計	7,526	7,274
固定負債		
長期借入金	3,322	4,322
リース債務	2	—
退職給付引当金	724	664
役員退職慰労引当金	65	137
固定負債合計	4,114	5,124
負債合計	11,640	12,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金		
資本準備金	1,078	1,078
資本剰余金合計	1,078	1,078
利益剰余金		
利益準備金	133	133
その他利益剰余金		
別途積立金	1,300	1,750
繰越利益剰余金	306	△ 364
利益剰余金合計	1,740	1,519
自己株式	△ 25	△ 24
株主資本合計	4,113	3,893
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 46	△ 118
評価・換算差額等合計	△ 46	△ 118
純資産合計	4,067	3,774
負債純資産合計	15,707	16,173

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

【第3四半期累計期間】(参考) (個別)

(単位: 百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)
売上高	11,678	12,289
売上原価	8,168	8,835
売上総利益	3,509	3,454
販売費及び一般管理費	2,662	2,702
営業利益	847	751
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	7	10
破損損害金	10	8
雑収入	22	11
営業外収益合計	44	34
営業外費用		
支払利息	193	148
雑支出	71	32
営業外費用合計	265	180
経常利益	627	605
特別利益		
受取保険料	—	4
投資有価証券売却益	—	1
有形固定資産売却益	47	—
特別利益合計	47	6
特別損失		
投資有価証券評価損	21	96
役員退職慰労金	—	41
固定資産除却損	1	12
事業構造改善費用	194	—
固定資産処分損	12	—
たな卸資産廃棄損	11	—
特別損失合計	241	150
税引前四半期純利益	433	461
法人税、住民税及び事業税	12	118
法人税等調整額	236	94
法人税等合計	248	212
四半期純利益	185	248